

**CIGS エネルギー環境セミナー**  
**「中国における大気汚染対策の『大躍進』－脱石炭化の光と陰」**

日 時 2019年3月19日(火) 16:00-17:30 (受付開始 15:30)  
 会 場 キヤノングローバル戦略研究所 会議室3  
 (東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル11階)  
 講 師 堀井 伸浩 (九州大学大学院経済学研究院 准教授)  
 モデレーター 杉山 大志 (キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹)  
 言 語 日本語

**講演概要**

習近平政権の大気汚染対策は「冬でも北京で青空」を実現した。成果は明瞭だが、裏にある莫大なコストは注目されない。近年の大気汚染対策を50年代の「大躍進」になぞらえるのは不謹慎かもしれないが、強大な中央がポピュリズムで政策を推し進め、地方は自己保身で暴走、経済性を度外視した政策が大々的に展開された点では同様の構図が見て取れる。

本セミナーでは近年の大気汚染対策について、環境統計から全体を俯瞰した上で、現場で何が起こっていたのかを報告する。特に主要エネルギーである石炭の利用抑制によって生じたコストに注目し、政策の評価と今後の展望を試みる。

**プログラム**

16:00-16:05	趣旨説明 杉山 大志 (キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹)
16:05-16:45	講 演 「中国における大気汚染対策の『大躍進』－脱石炭化の光と陰」 堀井 伸浩 (九州大学大学院経済学研究院 准教授)
16:45-17:30	質疑応答と討論 モデレーター：杉山 大志

**講師紹介**

1971年大阪生まれ。1996年慶應義塾大学法学研究科修士課程修了。アジア経済研究所研究員を経て、2007年より現職。

主要著作：①堀井伸浩編『中国の持続可能な成長－資源・環境制約の克服は可能か？』日本貿易振興機構アジア経済研究所、2010年、②堀井伸浩編『アジアの環境問題：政治・経済・社会からの視点』花書院、2015年、③Horii, N. “Energy system reforms for the reduction of coal dependency”, (Akihisa Mori eds., *China’s Climate-Energy Policy: Domestic and International Impacts*), Routledge, 2017, Chapter 4, pp. 55-74。